

1. 事業所別の介護職員等特定処遇改善加算取得状況

全事業が処遇改善加算(Ⅰ)を算定した上で、介護職員等特定処遇改善加算(以下、特定加算)を取得しています。

	入所	短期	通所
介護老人保健施設 あすか	特定加算(Ⅰ)	特定加算(Ⅰ)	特定加算(Ⅰ)
特別養護法人ホーム ずいせん長寿村	特定加算(Ⅰ)	—	—

2. 賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容

	職場環境等要件項目	当法人の取り組み
資質の 向上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援(研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む)	受験料や研修費用、試験・研修日の給与支給等の補助として資格支援制度を導入
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	10回/年内部研修実施、希望者に階層にあった外部研修参加(費用は法人負担)
	施設独自の人事考課制度を実施。階層ごとにあるべき姿を設定して、介護職員としての資質の向上を図る。	施設独自の人事考課表を作成し、育成及び考課を行う。また、2回/年上司面接を実施。
労働環 境・処 遇の改 善	新人介護職員の早期離職防止のためのエルダー・メンター(新人指導担当者)制度等導入	教育担当者による新人指導に加え、入職後半年間は「業務の心得」に沿って、1か月、3か月、6か月ごとに上司面談を実施。1か月と3か月でeラーニングを実施。
	雇用管理改善のため管理者の労働・安全衛生法規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実	有給休暇取得状況の定期的な確認と有給休暇取得推進を積極的に行う。

	ICT活用(ケア内容や申し送り事項の共有(事業所内に加えタブレット端末を活用し訪問先でアクセスを可能にすること等を含む)による介護職員の事務負担軽減、個々の利用者へのサービス履歴・訪問介護員の出勤情報管理によるサービス提供責任者のシフト管理に係る事務負担軽減、利用者情報蓄積による利用者個々の特性に応じたサービス提供等)による業務省力化	介護ソフトの活用による情報共有、記録の電子化による業務負担軽減を行う
	介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入	特浴、リフト浴、電動ベット(超低床ベット含む)の導入や腰痛ベルトの購入により介護職員の腰痛対策及び負担軽減を図る
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備	介護・看護休暇の時間単位取得
		育児中の職員の勤務調整の実施。(勤務時間/曜日を考慮) 育児などを理由に退職した職員の為のリターン制度導入
	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	朝礼・昼礼実施、各部署間でのミーティング実施により情報共有を図る
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化	安全対策委員会等の実施や各種マニュアルの作成。ヒヤリハット事故報告書に活用によるインシデント分析
	健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備	ストレスチェックの実施(1回/年)。 室内全面禁煙
その他	中途採用者(他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等)に特化した人事制度の確立(勤務シフトの配慮、短時間正規職員制度の導入等)	無資格未経験者の育成、日勤常勤職員制度導入。
	地域の児童・生徒や住民との交流による地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上	地域行事への参加や施設行事への招待。地域高齢者に対する介護体験教室の実施。
	非正規職員から正規職員への転換	非正規職員から正規職員への転換の奨励。